

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	スペイン語	学科 専攻
派遣先大学 (国)	サラマンカ大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Cursos Internacionales Modurar Program		
報告書提出日	2019年10月20日		
留学予定期間	2019年9月～2019年12月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 290,195 (円) /合計

航空券代： 155,940 (円) /合計

ビザ申請関連費： 0 (円) /合計

その他（日用品）： 50,000 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

90日以内なのでビザは取得していない。

1.2. 渡航について

航空会社はブリティッシュエアウェイズを利用。羽田空港を朝9時に出発し、12時間30分のフライトでロンドン・ヒースロー空港に到着。ロンドンからマドリードへ向かう飛行機の乗り換えは、予定だと2時間あったが、飛行機の出発が遅れたため3時間ほど待った。マドリードのバラハス空港には20時についた。寮に入るまでの日にちがあった為、3泊4日で予約したマドリードの中心地に近いホテルに2時間ほどかけて向かった。しかし、simカードをまだ持っていなかった為空港などのwi-fiがある所でしかケータイが使えなく、ホテルまでの道に迷った。人に道を聞いてホテルに22時に辿り着いた。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

私の寮は”JOAQUIN ALONSO”という寮だ。寮にはチェックインできなくなるかもしれないから17:00までに着くようにと言われていたが、電車で空席がなく予約もしていなかったため予定の電車に乗れず、20:00に寮についた。17:00までに着けないことを電話で寮に伝えておいたが何も問題なくチェックインできた。駅から寮まではバスで15分ほどかかった。

手続きは何も見せずただ名前を言っただけだった。部屋に案内してもらい、部屋の説明と洗濯について、共有スペースについて、寮を出るとき、帰ってくる時、掃除について説明された。全部で3分ほどの早いスペイン語での説明だった。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

必要ないのでしていない

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

オリエンテーションはなかった。コーススタート日の9月30日にプレイスメントテストがあり、その時に初めて学校に行った。私より1か月早く来ている友達がいるのでテストの場所まで案内してもらった。大学の敷地が広すぎて建物が色々なところに点在しているので友達がいなかったら迷っていたと思う。筆記とオーラル合わせて1時間ほどのテストだけしてその日は終わりだった。私が事前に日本にいるときにもらっていた初日についての資料に書いてあった結果の掲示場所と時間と実際の場所、時間が全く違った。次の日から授業があったが、どこに行けばいいのかわからず **Cursos Internacionales** のオフィスに行き、聞いたら私のクラスの場所と、こちらでの学生証をもらった。その日は授業に間に合わなかった。他の人に聞いたら、テストの結果張り出される場所が資料に書いてあったとのことなので、私がもらった資料は他のコースの資料だったようだ。

私は学生証を手続きは何もいらずとても簡単に手に入れることが出来たが、ビザがある人は申請するのに結構手間がかかるようだ。学生証があると身分証明書になり入館料などが安くなる。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

目的は、語学力の向上と異文化理解だ。

語学力は、現在スペイン語検定4級を持っている。帰国後3級取得を目標にしている。DELEはまだ受けたことがないがB2合格を目指す。

異文化交流は、留学生が多くいるためスペイン以外の国の文化も学びたい。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

授業が始まって1週間は先生が何を言っているのか理解できなかったが耳が慣れ、2週間目くらいから言語の授業は大きな問題もなく受けることが出来ている。ただ、授業内容は日本で一度はやって理解できている内容のはずだがスペイン人のニュアンスで伝えられるととても難しいと感じることは多々ある。

歴史の授業はとても難しい。少し専門的な聞いたことのない単語が多く出てくるため引っかけってしまうことだらけだ。全部授業は録音し寮で解読しているが、初めは10分を理解するのに30分かかっていた。今は授業内である程度は理解できるようになった。語彙を増やすことに努めたい。

スペイン人や韓国人台湾人の友達ができて話していると文化の違いを感じておもしろい。これからも人とのかかわりを大切に色々な人と関わってみたい。

3.3. 今月の学習・研修目標

スペイン語を話したり、聞いたりしていて一番困ることは、聞き取れてもその単語の意味が分からないことだ。人と話していると語彙が増えるのでこれからもコミュニケーションを通じて語彙力をあげていきたい。また、スペイン語の本を買ったのでそれも使っていきたい。

とにかくスペイン語を口に出すことが大事だと思ったので授業中でももっと積極的に発言していきたい。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	秋学期
月	conversación y redacción(9:00-11:00) historia de españa(13:00-15:00)
火	lengua española(9:00-11:00)
水	conversación y redacción(9:00-11:00)
木	lengua española(9:00-11:00)
金	historia de españa(13:00-15:00)
土	
日	

4.2. 授業について

私のコースは全ての授業が2時間ずつだ。

conversación y redacción は話すことが大半である。毎回ゲームのようなものをしてみんなでコミュニケーションをとる。盛り上がりもあり、とても楽しい。聞く力と話す力が伸ばせると思う。

lengua española は文法の授業で、日本で一回は必ずやった内容だ。しかし、スペイン人の感覚で教えられるのは日本の授業での教わり方と少し違いがあり難しいがおもしろい。丁寧に説明してくれるので理解できる。

historia de españa は先生がスペインの歴史を2時間話す。クラスはほとんどがアメリカ人で、彼らの理解のスピードについていけない。段々慣れてきてわかるようになってきてはいる。次の授業で使うプリントが予習として配られるのでそれを読んでから授業に臨めば理解が深まる。

4.3. 予習・復習・自習について

conversación y redacción は特に予習も復習も必要ない。その日授業に出てきた口語的な表現や、初めて来た単語を自分でまとめたりはしている。

lengua española は毎回宿題が平均2ページくらいは出る。意外と早いスピードで進んでいくので毎時間後に復習している。復習をしなくても授業に置いて行かれることはないが、したほうが絶対に理解が深まる。

historia de españa は事前に配られるプリントを読んで準備している。授業後は授業の録音をきいてわからなかったところを聴きなおしている。先生がしゃべるのが早いから授業では理解できない部分があるが、録音を何度も聞いたら理解できる部分もある。どうしても理解できない部分もある。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
	<ul style="list-style-type: none">・トイレ、シャワー、洗面所と鏡、ベッド（小さめ）、勉強机椅子と引き出し、クローゼット（前の人が置いて行ったハンガー有）、窓、ゴミ箱、コンセント5か所 が部屋にある・洗濯は週に一回 二回目からは2ユーロ払えば出来る・常に寮母さんがいるためインターホンを鳴らすと夜中でも何時でも開けてくれ、外部の人は入れない

- ・掃除は一日おき（ゴミ回収と床掃き）シーツの交換は週に一回（その時とてもきれいにベットを整えてくれる）
- ・部屋はきれいだが寒い(温水で温まるヒーターがあるが全体管理)
- ・食事について：キッチンには冷蔵庫・電子レンジ・電気ポット・調味料少ししかない。私は食事なしの契約だが、火を使う自炊はできない。お皿をかってそこに買ってきた野菜やツナ缶などを盛って食べている。好きなものを食べれるし外食も多いからいいが、少し大変。
- ・シャワーと洗面所の水はけが悪い（部屋による）
- ・大き目の窓があるが私の部屋の方向的に窓の外が小学校のグラウンドで朝昼は窓を開けると生徒たちの声がうるさいくらい聞こえてくる。生徒が見上げたら部屋は丸見え。（ブラインドはついている）
- ・乾燥している 洗濯物や濡れた靴、濡れた傘は乾きやすい 寝ていると喉が痛くなる 肌も乾燥する
- ・水道を左にひねるとかなり熱いお湯が出るからそれで味噌汁を作っている
- ・廊下での話し声や、隣の人の足音が聞こえる

5.2. 課外活動について

毎週木曜日の夜に日本語を学んでるスペイン人との交流会がカフェであり参加している。時々平日の夜にパエリアづくりや陶芸づくりのアクティビティがある。これからあり申し込んでいる。土日は学校が企画した都市へ訪れるアクティビティがある。私はまだ参加したことがないが、自分で組むよりはるかに安く行けるようだ。そこでも友達ができそう。泊り、一日のみどちらもある。私は同じ留学生の友達と自分たちで計画して都市を回ったり、夜は食事に行ったりして過ごしている。旅行に行く予定はこれからある。

5.3. 現在までの感想

授業が始まって1週間目は何を言っているのかわからないし、友達もいなくて帰りたいと思っていた。しかし、だんだんクラスが打ち解けていき先生の言っていることも理解できるようになってきて楽しくなってきた。周りの人はほとんどみんな優しい。大学の日本人のスタッフがやっているインスタグラムのアカウントがあるのでアクティビティの参考に少しはなっている。この町は安全で夜で歩いても問題ないし、生活しやすい感じがする。悩み事は食事。スペインの食べ物はおいしいが味が濃くて毎日食べてられない。環境が変わったからなかなか寝れない日が多い。やっと寝れるようになってきた。いつみても学校や町は美しくこの大学にしてよかったなと感じている。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（12月）

所属	外国語学部	スペイン語学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	サラマンカ大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Cursosinternacionales Programa Modular		
報告書提出日	2019年12月20日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

スペイン語力（リスニング、オーラル、ライティング）の向上。DELE B2 取得を目指す。異文化理解。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

友達になったスペイン人や留学生と遊んでいたためスペイン語を話す機会は以前より増え、スペイン語を話すことへの苦手意識が減った。授業中も先生の質問に対してなるべく具体的に答えることが出来るようになった。

1.3. 今月の学習・研修目標

12月の目標は、コースの最後の週にテストやプレゼンテーションがあるため、それに向けての準備を良い成績をとること。

2. 学修について

2.1. 授業について

conversación y redacción

変わらず毎回テーマが一つあり、そのテーマに沿った会話やスペイン語を使ったゲームをする。一人質問含め30分間ほどのプレゼンテーションがあった。クラスに慣れていくにつれみんなの発言が増えた。

lengua española

最初に比べ、内容のレベルがだんだん上がっていき難しくなった。でも一度は日本で習ったことだからわからないことはない。

historia de españa

グループワークと、プレゼンテーションがあった。グループワークは今まで授業で習ったことや知識を出し合って紙にまとめた。プレゼンテーションでは先生が提示した人物について二人一組で発表した。

2.2. 予習・復習・自習について

conversación y redacción

授業で何をするのか事前にわからないので予習はしていない。復習は毎回授業後に行っている。プレゼンテーションのためのパワーポイント作りと、練習にはかなり時間を使った。

lengua española

配布されるプリントで予習復習を行った。

historia de españa

次の授業で使うプリントが前もって配られるのでそれを読んでから授業を受ける。授業後も先生の話の踏まえてもう一度プリントを読むことで理解が深まる。この授業が一番家での勉強時間を占めている。そうしないとついていけない。

2.3. 語学力について

以前よりスペイン語が自然に出てくるようになった。特に仲のいい友達と話しているときは言いたいことが伝わらなくて困るということはとても減ったし、伝わらないときは他の言い方で伝えることが出来るようになった。落ち着いて話すことが出来るようになったと思う。

道を歩いているときに自然と他人が話している話が耳に入ってくるようになった。

特に以前から変わった取り組みはしていないため、ただ慣れてきたのだと思う。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
----	------------

食事は相変わらず電子レンジでの調理しかできないから不自由。洗濯機の威力が強いせいか、日本から持って行った服がいくつかボロボロになってきた。

朝学校に行く時が一番寒い。部屋はヒーターが時間によってつくようになって温かいが寝るときが一番強くしていると暑い。

3.2. 課外活動について

初めて学校主催のアンダルシア遠足に参加した。他の国からの留学生と友達になれた。それによってスペイン語を話す機会はもちろん、英語も話す機会が少しできた。引率の先生がガイドもしてくれるので、スペイン語で建物の説明を聞いた。50人ほどの大人数で回るためゆっくり見たいところが見れないときもあった。

3.3. 現在までの感想

帰国後のインターンシップを確認して少しづつ考えている。夜遅くに出歩いても身の危険をかんじたことや、危ない光景を見たことがないので、サラマンカの町は本当に安全だと思っている。とはいっても、12月にあるフィエスタではスリが起きやすいと聞いたので油断しないで日本とは違うことを忘れずに最後まで過ごしたいと思った。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	スペイン語学科	3 年次
派遣先大学 (国)	サラマンカ大学 (スペイン)			
所属プログラム・ 学部・研究科	Cursos internacionales Programa Modural	履修言語	スペイン語	
留学期間	2019年9月～2019年12月			
報告書提出日	2019年12月20日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall Semester	9月30日 ～12月13日 (週)	12月4日 ～12月11日	2月中旬に国際センターから履修する授業をサラマンカ大学に提出するための書類が届き、そこで履修登録をした。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall Semester	Conversacion y Redaccion	44 時間	月曜日と水曜日の9:00-11:00。クラスの人数は9人。内容は毎回スペインの記念日などのお題があり、それについての会話をしたり短い劇を作ったりする。先生とクラス全員で話しながら授業が進んでいく。筆記の中間テストと期末テストがあり、授業でやったところから出題される。勉強方法は復習。二つのテストの間の時期に1人15分ほどのプレゼンテーションがあった。内容は自由でパワーポイントを使って行った。
		2(時間/回) × 2 (回/週) × 11 (週)	
Fall Semester	Lengua Española	44 時間	火曜日と木曜日の9:00-11:00。クラスは16人。内容は文法をやる。私のクラスではser,estarの使い分けから過去形や接続法まで色々やった。すべて一度は神奈川大学の授業で習ったことがあるものだった。2時間の授業でいっぱいたくさんのお話をやる。宿題や授業中に出された問題に順番に答えていく。テストは中間、期末の二回。授業で習ったことし
		2(時間/回) × 2 (回/週) × 11 (週)	

			か出ないので勉強法は復習。
Fall Semester	Historia de España	44 時間	月曜日 13:00-15:00 と金曜日 9:00-11:00. 内容は古代のイベリア半島からスペインの黄金時代までを勉強した。クラスの人数は 20 人ほどで多くはないが先生がしゃべる講義形式。毎回プリントを読んだり、歴史上の人物について調べるなどの宿題がある。
		2(時間/回) × 2 (回/週) × 11 (週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

プリントが配られる授業はプリントを読んで予習復習を毎回行った。難しいと思ったところは何度も読み返すことで身に着けることが出来た。会話の授業はなるべく多く発言することを心掛けた。先生やクラスメイトの話をよく聞いて自分も発言することでスペイン語の授業の理解がより深まった。歴史の授業は聞いたことのない単語が多く出てきて特に初めは理解に苦しんだ。授業を録音して家に帰ってから聞いていた。だんだん慣れていき授業中に理解することが出来るようになった。わからない単語が先生の話に出てきたらすぐに調べるようにしていた。

1.4. 語学力について

・留学初頭に比べての成果

スペインに着く前は授業でリスニングやオーラルを少しはやっているから、日常生活の簡単な会話はできるだろうと思っていた。しかし、留学が始まって最初のほうはスペイン人の話すスペイン語が早すぎて聞き取れず、会話をするのが本当に難しかった。3週間ほどすると耳が慣れていき道で話している人の会話が自然と耳に入ってきたり、話しかけられた時に理解に困らなくなった。また、初めは自分の言いたいことを考えてから口に出さないと伝えられなくて時間を要したが、スペイン人の友達や留学生の友達との会話を重ねることで、気付いたら普通の会話や質問が文を考える前に言うことが出来るようになっていた。

・留学中の取り組み

授業時間が短く自由な時間が多いため、なるべく部屋に引きこもることがないように心がけていた。道を歩くだけでもリスニングになるし、お店に行けば単語をたくさん見ることが出来た。寮を選択していたため、スペイン語を話す機会を自分で作らなければあまりなかったのも、スペイン人や他の国の留学生の友達と毎週遊んだり、インテルカンビオになるべく毎週行き話す機会を増やすよう努力した。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

会話の授業では、留学当初は先生やクラスメイトに質問された時に「はい」か「いいえ」での答えしかできなかった。授業で発言することを心掛けていた結果、文法的に正しい文がすぐに言えたわけではないが話を膨らませられるような文で答えることが出来るようになった。間違えることを恐れなくなった。文法の授業では、スペイン人が実際に使うシチュエーションとともに用法を学べたので表現力が広がった。歴史の授業では古代ローマ時代から黄金世紀までのスペイン史のおおまかな流れがつかめた。また、歴史に関係のある語彙が増えた。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

反省点は、もっと積極的に発言するべきだった。話せば話すだけ語学力は向上すると思う。授業中に先生やクラスメートが言っていることを一言一句逃さないくらいの気持ちで集中して聞いたほうが良いと思う。雑談であっても知識になるし先生は必要のないことは言っていないからよく耳を傾けたほうが良い。

2.3. 留学生活で得られたもの

留学中に何度か問題に直面したことで、自分で行動を起こして問題を解決する力がついた。そして一人ではどうしようもない時には、周りの人に助けを求める大切さを理解した。そして、自分はやればできるという自信につながった。

また、スペイン人や様々な国から来た学生との交流を通して彼らが日本に対して持っているイメージを知ることが出来た。スペインの文化には実際に触れて感じる事が出来たが、留学生との会話でスペイン以外の国の知識も増えた。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

- ・国際キャッシュカードを作っていたほうが良い

私はクレジットカードのキャッシュ機能で現金を下ろしていたがATMから現金が出てこなかったのに請求されているということがあった。クレジットカードのキャッシュ機能は限度額があるからそれ以降現金を引き出せなくて困った。

- ・クレジットカードの限度額をあげたほうが良い

食事や特に旅行をするといつの間にか限度額に達してしまっていて使えなくなってしまった。私はスペインからカード会社に電話して限度額をあげてもらったが、日本にいるうちにやっておいたほうが良い。

- ・荷物はできるだけ軽くしたほうが良い

キャリーバッグが24キロあり、道が石畳になっていたため引くのがとても大変だった。駅やホテルも場所によっては階段しかないところもよくある。電車に乗り降りするのも大変だから、服などは現地で購入して捨てて帰るのが良いと思った。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年12月21日

所 属	外国語学部	スペイン語学科	3 年次
派遣先大学	サラマンカ大学		3 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input checked="" type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	一人部屋(ベッド・机・シャワー・トイレ・クローゼット)、3階建て、国籍は様々
3	入居時手続き	名前を言い部屋に案内され寮の説明を受けて終了
4	費用(月額)	652.5(ユーロ)(食費 食費含まない/月)
5	支払方法	日本から事前に全額海外送金
6	住居に附属する設備	<input type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	窓の外が小学校のグラウンド、バス停の近く、歩いて5分弱の所にスーパーがある
9	アクセス	大学まで20分、マヨール広場まで15分
10	留学中の住居に関して アドバイス	ホストファミリーと暮らしたほうがスペイン語を話す機会は増えると思う。寮だと他の留学生との交流はあるが話すときは英語が多かった。一人だけの空間が欲しい人は寮をお勧めする。

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	vodafoneの店舗に行ってSIMを買った。4週間ごとにチャージして使っていた。
4	自宅のインターネット接続環境	無線(大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線(大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費(1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	652.5(ユーロ)/月
2	食費	120(ユーロ)/月
3	交通費	0(ユーロ)/月

4	通信費	20 (ユーロ) /月
5	娯楽費	230 (ユーロ) /月
6	図書費	0 (ユーロ) /合計
7	学用品 (教科書など)	0 (ユーロ) /合計
8	被服費	70 (ユーロ) /合計
9	医療費	0 (ユーロ) /合計
10	雑費・その他	0 (ユーロ) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舎デポジット	35 (ユーロ) /合計
12	ビザ申請関連費	(通貨入力) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	170000 (円) /往復
14	その他	120000 (円) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	700000 (円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 30000 円) <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名:) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	お金に関するアドバイス	国際キャッシュカードを作ることをお勧めする。現金は街で両替するとレートが悪いため空港でやったほうがいい。基本はカード払いにしたほうがいい。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行 (留学) 保険の種類	C19 (約3か月分で 34780 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか?	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか? 理由はなんですか?	下痢止め (生ものを食べておなかを壊したから)

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
	衣類 (冬用のアウター・マフラー以外) ・室内用の靴・スプーン・フォーク・味噌汁・ドライヤー・ヘアアイロン・タオル・教科書・電子辞書・紙の辞書・筆記用具・ノート・ファイル・常備薬・保湿クリーム・化粧水・メイク道具・小銭入れ・パスケース・ハンガー・カレンダー・カメラ・PC・充電器・マスク
2	現地で購入したもの
	冬用のアウター・マフラー・ブーツ・服・スペイン語の本・ティッシュ・靴下
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの
	時計・衣料用柔軟剤

VI. 留学先で困ったこと

ATMでお金を引き出す時に現金が出てこなかったのに引き出されていることになっていた。カードの上限に達し、クレジット機能が使えなくなった。友達がけがをしたとき状況説明に苦労した。寮の食事をつけなかったら電子レンジと電気ポット、冷蔵庫しかなくて調理に困った。キャリーケースが重すぎてホテルや寮に行くまでがとても大変だった。他国のストライキでフライトがキャンセルになり旅行に行けなかった。11月くらいがとても寒く感じて外を歩くのが辛かった。最初はよく寝れなくて寝不足になった。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

海外のATMはよくトラブルが発生するようなので手数料が高くても信頼できる銀行のATMでお金を下ろしたほうが良い。渡航前にクレジットカードの上限額を上げておいたほうが良い。お酒の飲み過ぎには注意。生の食べ物にも注意。フィエスタの際はスリに要注意。